BIRD-KISS WS

ワークショップレポート／001

四季文化館「みの～れ」2018.05.27

私達は、21世紀を生きる子供たちのためのBIRD-KISS（アートコミュニケーションプロジェクト）として、100種類の創作BIRDのぬり絵を中心としたワークショップを各地で積極的に展開しています。「自分らしく、他人を認めあい仲良く」をテーマに、セルフエドケーション（しなやかで、自由で、生きること自体が、知らない間に、学ぶことになっているようなスタイル）の大切さを伝えていきたいと思っています。ぜひ、ホームページをご覧ください。 www.bird-kiss.com

茨城県にある小美玉市四季文化館「みの～れ・BIRD美術館」とは？

2001年１月より、茨城・美野里町の「文化センター建設プロジェクト」においてアートプロデュースを担当しました。文化センターが建つ場所は、豊かな森を再生し、自然に彩られた美野里のイメージを高める場です。そこで森の象徴である「BIRD」を通じて、住民のみなさんと共に文化センターを創り上げていこうというプロジェクトでした。おおたけの創作ビジュアルである「BIRD」を通して子供たちの感性を宝にして親子の共生を創造する場を提供していく参加型アートを推進し、15年目を迎えます。

「みの～れ」のイベント「おやこDEわくわくコンサート」とコラボWS開催。

2018年5月27日（日曜）に開催されたイベントにあわせてBIRDぬり絵を中心としたワークショップを行いました。
コンサートに参加した300組の親子が多数BIRDと親しんでくれました。今回のワークショップは、親子というテーマで楽しんでもらうために、対の２羽のBIRDを親と子どもがぬり絵で完成させるという親子共同作業にチャレンジしてもらいました。さてさて、どちらのBIRDのほうが創造性にあふれたBIRDに仕上がったのか？結果は？（笑）
また、子どもの安全をスローガンにしたBIRDバッチをガチャポンでゲット。その場で子どもにつけてもらいました。これからの季節「ひとり歩き」なんかはぜったいにさけたいですよね。BIRD折り紙も300セット用意。親子で風船を折って遊んでもらいました。他にもいろんな企画で盛り上げました。
次ページ以降に紹介しています。

「みの～れ」のモニュメントの前で。（BIRDおおたけ）
館内の森のホールの前には、100種類のBIRD作品が常設展示されています。

親子で参加していただいたことは、BIRD-KISSとしてとても意義がありました。

BIRD-KISS WS

ワークショップレポート／002

四季文化館「みの～れ」2018.05.27

BIRDぬり絵について。

ワイヤーBIRDに沿ってキチッとはみ出さないように塗る子ども。ワイヤーにこだわらず思いっきりはみ出して塗る子ども。ときにはワイヤーを足して足を10本にして「ムカデBIRD」とネーミングを添える子ども。また、同じ種類のBIRDでも塗る子によって全く違う色彩のBIRDになる。そんなBIRDを参加する子どもたちは互いに認め合い楽しんでもらいたいのが「BIRDぬり絵」の世界です。自分らしさをみんなが見せ合い、そして認め合う社会。未来を生きる子どもたちに伝えたいメッセージです。

BIRDは100種類。

BIRDおおたけの描くBIRDは100種類あります。その中から自分で塗りたいBIRDをセレクトするところからWSはスタートします。

ワイヤーBIRDを親子でぬり絵。

ぬり絵ボードの中のBIRDを２羽向かい合ったレイアウトにしました。それを親と子どもと一緒に塗ってもらうという企画にしています。親も子供心を思い出してチャレンジ！

WS後は、そのままポスターにして、BIRD美術館に展示。

完成した親子BIRDをあらためて見に来て。他のBIRDをみたり、自分のBIRDと比べたりしてほしいと思っています。また、WSそのものを常設し、いつでもぬり絵が楽しめるように提案しています。

WEB-BIRD美術館への投稿。

BIRDぬり絵が完成したら、写メしてBIRD-KISSホームページ内の「特設BIRD美術館」へ投稿できます。世界の子どもたちとのコラボを楽しんでください、今後はネット上でも、ぬり絵ワークショップに参加できるようにしたいと考えています。

KISSには、相思相愛の意味がこめられています。自分から進んでアクションしよう。

お花畑で遊んでいる鳥さんなの。そう言いながらリボンをつける子ども。空想の世界で遊んでるのかな？

きれいに塗ろうと慎重な子どももいれば、笑いながら塗りなぐる子どももいる。

サポートしてくれたボランティアの高校生・大学生のみなさんも、好き勝手に塗り始める子ども達にあたふた（笑）。

集中して色えんぴつを動かしている子ども達。どんなことを考えて塗ってるんだろう？

みんなのBIRD展として後日展示します。

BIRD-KISS WS

ワークショップレポート／003

四季文化館「みの～れ」2018.05.27

BIRDぬり絵バッチについて。

BIRD-KISSワークショップでは、ぬり絵ボードで楽しんでいただくこととは別に、完成したBIRDを「缶バッチ」にして差し上げるという企画も実施してます。世界でひとつのオリジナルバッチです。子ども達が帽子やカバンにつけて、まるで自分の分身のように大切に楽しんでくれています。
「子ども達のBIRDとBIRDおおたけのBIRDとどっちがいい？」って尋ねると、みんなそろって「わたしの－！」「ぼくの－！」って嬉しそうに返事してくれます。うれしいやら、悲しいやら（笑）。

BIRDのORIGAMIで遊ぼう！

日本古来の紙遊びである折り紙は、世界共通語。BIRDもオリジナル折り紙を作っちゃいました。もちろん英語の解説付き。南アフリカのウガンダ、モンゴル、ミャンマー、ニューヨークなどに配ってます。表裏ともデザインしてます。さまざまな折り紙とは別に、お年玉袋にしたというお便りもいただいてます。「みの～れ」では、風船の折り方を紹介し、親子で遊んでもらいました。
BIRDぬり絵と同じく、折った作品を写メしてBIRD-KISSホームページ内の「特設BIRD美術館」へ投稿できます。

BIRDガチャポンも登場！

今回は、親子での参加イベントということもあり、登下校時に注意してほしい「メッセージ」を表記したBIRDバッチを、ガチャポンのカプセルに入れました。ポイントは「ひとりにならない」ことです。
●ひとりで遊ばない。●ひとりで帰らない。●ぜったいひとりにならない。●みんなといっしょに帰る。●知らない人と話さない。●こわい時は大声をだす。●大声でたすけを呼ぶ。●くらい道は通らない。●おそくまで遊ばない。●カエルコールをしよう！　など。
たかがBIRDバッチですが、少しでも世の中のお役に立ちたいと願っています。

自分が塗ったBIRDのバッチには、さすがに子ども達も大喜び。お友達に見せびらかしてくださいね。（笑）

那須のBIRDステーションでは、プレゼントした缶バッチを複製して展示してます。日々、仲間が増えることがとても嬉しいです。

BIRD折り紙を通していろいろな人と触れ合うきっかけを作ることで、自然とコミュニケーション力を育んで欲しい。海外交流の手段の1つとして役立てられるよう、親しんでおくのもいいかもしれませんよ。

安心標語BIRD缶バッチで、お父さん、お母さんを応援したい。そう願って制作しました。

東日本大震災以来、配っている「Daijobu-Daijobu」（大丈夫-大丈夫）缶バッチ。これからも子ども達の心をしっかりサポートしていきたい。

ぬり絵は時として、気分転換に役立ちます。（進学プラザのカレンダーは、BIRDぬり絵仕様。希望する学校へ進学するための目標をぬり絵に込めます。）